

# 新しい校舎の特徴



小中一貫校

## 角鹿小中学校4月開校

### ■県内初の 施設一体型小中一貫校

公立学校では、県内初となる施設一体型の小中一貫校「角鹿小中学校」が開校します。敦賀北小学校、赤崎小学校、威新小学校および角鹿中学校の3小学校・1中学校の合計4校が統合するもので、平成25年度に地区や保護者から同中学校区における小中一貫教育の導入に関する要望を受け、平成26～28年度の各検討委員会、平成29～令和元年度の設置準備委員会で検討してきました。

工事着手後は、施工業者および工事監理者と一緒に、校舎建設を進め、大雪や感染症対策など、外的要因にも適切に対応しました。

いよいよ4月から新校舎での学校生活が始まります。

### ■設置準備委員会の取り組み

開校準備にあたり、平成29年度から設置準備委員会において、区長会、PTA、学校、保育園、幼稚園、児童クラブ、大学など、様々な分野から多くの皆さまにご参加をいただき、4つの専門部会に分かれて、統合の実現に必要な課題の解決や準備事項について

新校舎は、現在の角鹿中学校の敷地内に建てられる3階建ての鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）の建物です。外観デザインは、敦賀港からはじまる広大な海の水平線をイメージした水平基調のデザインとし、児童生徒の活動の背景にあわさしい、伸びやかでシンプルな作りになっています。

1階に職員室、保健室、天筒メディアセンター、角鹿ホール（多目的スペース）、2階に小学1～4年生の普通教室、3階に小学5

年生、中学3年生の普通教室などを配置し、理科室や音楽室といった特別教室などは、小中兼用とすることで、スペースの有効活用と動線の短縮化を実現しています。

また、各普通教室の前には、ワークスペース（小）やワークルーム（中）を設け、9年間の成長段階に合わせた空間使いが出来ます。

### 校章に込められた思い



角鹿小学校  
角鹿中学校

9つの同じ形状の図形をサイズ違いで組み合わせることで、角鹿小中学校に通う小学1年生から中学3年生までの9年間にわたる子どもたちの成長、学びのつながり表現し、その9年間で先生や地域の方々と一緒に育んだ大きな翼で未来へ羽ばたいていく、その情景をイメージして作成しました。



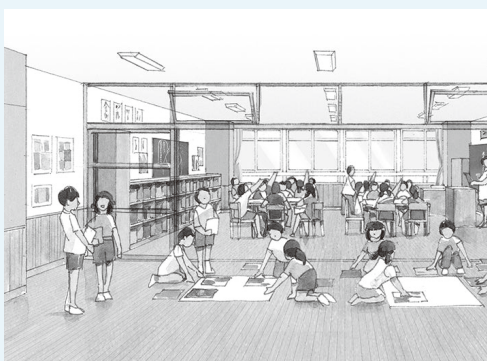
#### ◆角鹿ホール

プロジェクターや音響設備を備えた様々な用途に対応できる階段構造の多目的スペース



#### ◆天筒メディアセンター

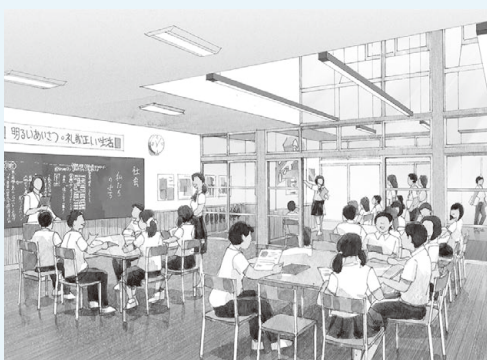
本を介した日常的な交流やICT環境が整えられた学びの拠点



#### ◆小学3～6年生の普通教室周り

（手前：ワークスペース）

廊下側にワークスペース（教室と一体的に利用できる空間）を設け、学級間や学年全体でのグループ学習などの機会が増えることに対応



#### ◆中学1～3年生の普通教室周り

（奥：ワークルーム）

ワークルーム（個別面談などが行える壁で仕切られた個室空間）を備え、多様な活動を同時に行えるスペースとして活用

部会名	検討内容	部会名	検討内容
総務部会	①校名 公募・投票により「角鹿小中学校」に決定	PTA部会	①PTA組織統合・会費 4つの組織を統合する新会則を制定し、1世帯1,000円を基本に会費を設定
	②校歌 現在の角鹿中学校の校歌を継承		②通学方法 威新小ワーキンググループが全区を対象にスクールバスを運行するよう市教委に要望
	③校章 公募・投票により、新しい校章を制作		
	④校訓 開校後に、学校で制作		
学校運営部会	①制服 (小) 紺色スモックタイプ (中) 現行どおり	施設整備部会	①H29 基本計画・基本設計 区長会、PTA、保育園保護者、教職員などでワークショップ 実施設計
	②体操服 現在の角鹿中のものにそろえる		②H30 基本計画・基本設計 区長会、PTA、保育園保護者、教職員などでワークショップ 実施設計
	③通学パン (小) ランドセルもしくは軽量ランドセル (中) 現行のリュックタイプ		・4校の全教職員などを対象にワークショップ
	④インナー (小) 白無地のポロシャツ (中) 開校後協議		・児童生徒ワークショップ

て検討、調整を行ってまいりました。とりわけ、施設整備においては、学校施設専門のコーディネーターや設計者のもと、基本計画、基本設計、実施設計段階に至るまで、より良い校舎となるように何度も議論を重ねました。





6年 高早 優月さん



**体育大会での人文字**

当時は全校児童213人と今より多く、「かんしん」の文字の下に「Victory」を表す「V」の文字も入れました。

## 咸新小学校

例年学校を挙げて取り組んでいる「全国ラジオ体操コンクール」ですが、今年は、コロナ禍で中止になってしまいました。しかし、代わりに学校独自で行ったラジオ体操コンクールで保護者の方やPTAの方に「最優秀賞」の評価をいただいたのがとてもうれしかったです。

学校が閉校することは寂しいけれど、新しい環境で勉強したり、友達と遊んだりワクワクもしています。



**初代「想古の松」**

明治31（1898）年頃に植えられ、校区の人たちは木陰で学び、根にくくりつけた太鼓をたたいて、夜通し踊ったそうです。2代目、3代目と引き継がれていきました。

# 各校の歴史を振り返る

閉校する3つの小学校は、それぞれ創立約150年の歴史があり、卒業生と地域の皆さんが築き上げてきた伝統や思い出がたくさん詰まっています。当時の写真と、最後の卒業生の皆さんのメッセージで振り返ります。

## 敦賀北小学校



6年 矢田 恵大さん

今年度の体育大会で、赤組の団長を務めたことが、一番印象に残っています。閉校になることについては、少し寂しい思いもありますが、今まで培ってきたこの敦賀北小学校の伝統を、新しい学校に進学しても引き継いでいきたいと思えます。中学校に進学したら、赤崎小や咸新小の仲間が増えるので、大切にしていきたいと思えます。



**改築工事後の校舎**

昭和59（1984）年3月に校舎改築工事が終了し、6月29日に総合落成式を挙りました。



**開校百年記念式典**

昭和47（1972）年11月1日に講堂（当時の体育館）で開催された記念式典では、北小自慢の1つである楽器演奏などが披露されました。

### 皆の思いが詰まった角鹿ならではのトイレ

小学1、2年生用トイレのモザイクタイル（花火大会）▼



▲モザイクタイル作りワークショップの様子



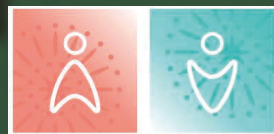
土壁塗りの様子▼



▲中学1、2年生用トイレの土壁（気比の松原）



「角」をモチーフにしたピクトグラム▶



新校舎に愛着を持ってもらう仕掛けも凝らしました。普通教室前の児童生徒用トイレには、「気比神宮」や「赤レンガ倉庫」など本市の観光資源をモチーフに、9年間の成長に寄り添いながら変化させるデザインを採用しています。1月には、敦賀北、赤崎および咸新小学校の全児童により「とうろう流しと大花火大会」をモチーフにした小学1・2年生用トイレに使用するモザイクタイルづくり（本号表紙）を行いました。また、「気比の松原」をモチーフにした中学1・2年生用トイレでは、閉校する3つの小学校の土や気比の松原の砂を使い、トイレ内部の土壁づくりを行いました。（左写真・上から気比の松原の砂、咸新、敦賀北、赤崎小学校の砂）そして、各トイレのピクトグラム（案内サイン）は、「角鹿」の語源である日本書記に登場する伝説上の人物「都怒我阿羅斯等（ツナガアラシト）の額の角をモチーフにしたオリジナルデザインとしています。

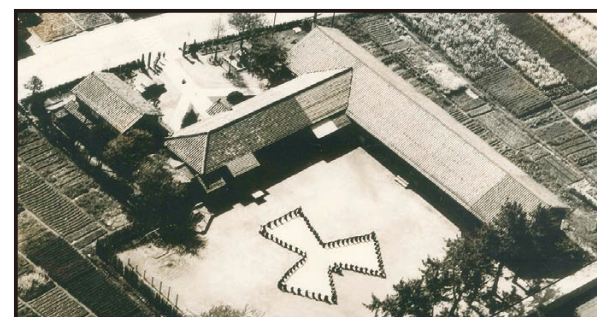
## 赤崎小学校

毎年行っているオープンスクール「赤崎っ子スクール」が私の一番の思い出です。保護者の方だけでなく地域の方も集まって交流することができました。赤崎小学校は、みんなで作り上げた学校です。

新しい小中学校では、今よりも児童・生徒の数が増えるので、いろいろな人と積極的に交流していきたいと思えます。また、新しい校舎で、勉強や部活動を頑張り、仲間と共に高め合いながら楽しく過ごしたいです。



6年 森 珠緒さん



**昭和40（1965）年5月頃の赤崎小学校校舎**

昔は国道の海岸沿い側にあり、昭和41（1966）年6月18日に現在地に移転しました。



**現在地への校舎移転時の引っ越しの様子**

昭和41（1966）年6月、現在地に移転する際には、子どもや区民などが総出で引っ越し作業を行いました。